



介護あんしん 相談員だより

第57号 令和7年5月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員は、ご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きして、客観的な目で見えて気づいた点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。現在18名の相談員が活動しています。



利用者様や介護あんしん相談員の声からいくつかご紹介します
(令和7年2月)



～介護あんしん相談員の声より～



相談員：T氏は常にエプロンを付けて、仕事(作業等)をされていて、凄いなと思います。また、男性の介護士さんが今日は多いです。
施設：本人が出来る事は、なるべく声をかけてお願いするようにしています。男性介護士さんが新しく入られました。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



T氏は今回も元気にお話をしてくださいました。ずーっと働いて来られたので、いつもエプロンを付けているそうです。「いつも働いていないと不安になられます。」と施設の職員さんからお話を伺いました。

施設に入っても、今までの人生を持ったまま、ほんの一部でも継続していけることは、施設スタッフさんと周囲の方の理解と協力、見守りがあって実現できていることだと思いました。一日でも長くエプロンを付けていて欲しいですね。

また、こちらの施設では年配の男性介護士さんが活躍されているそうです。これからも、年齢・性別に関係なく、介護の現場で活躍できる人材が増えてくるのではないのでしょうか。

相談員：トイレの声かけの時に、トイレと言わずに「私に付いてきて。」と声をかけられていて、とても印象が良かったです。

施設：声かけには十分に注意し、自尊心を傷つけないように配慮しています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



トイレ誘導の時に、「●●さん、ちょっと来てくれる？よかね？」と声をかけられると、スムーズに誘導ができていたようです。

トイレやお風呂という言葉には、拒否の返事をされる方が多いので、いろいろ試してみて、それぞれの方が応じてもらえる方法を見つけて誘導をされているそうです。

「ちょっと来てくれる？よかね？」ともし誘われたら、何か良い事でもあるのかな？何かもらえるのかな？とワクワクしますよね。自分だけという特別感を感じて、いらっしゃるかもしれませんね。

とても良いトイレ誘導時のひとつのアイデアですね。



～利用者様の声より～



利用者：「ここの職員さんは良くしてくれる。この仕事はとても大変と思う。特に夜は一人なので、トイレのためにコールしても待たされるが、仕方ないと思っている。」

施設：「夜間帯は特にコールが重なる事が多く、理解してもらえているのは嬉しく思います。」

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



利用者様は、職員の皆さんが頑張られていることを理解され、とても感謝されていました。トイレの対応は特に申し訳なく思われているようです。

「外国からの職員さんの対応も良く、先輩職員さんの教え方が良いからだと思います。」ととても感謝されていました。

職員さんには直接言えないことも、介護あんしん相談員には気楽にお話をしてもらえるようです。

職員さんの頑張りを、利用者様は一番近くで見え感じられています。言葉では上手く伝えてもらえないかもしれませんが・・・。

お互いに家族同様、笑顔・挨拶・感謝の言葉で、嫌な気持ちになる人はいないので、気持ちよく日々生活を過ごせたら良いですね。



鳥栖広域 相談員だより

検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧することができます。よろしければご利用ください。